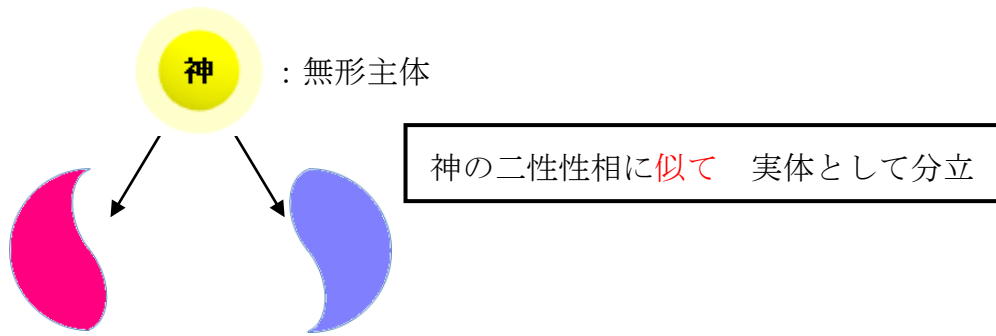


I 個性真理体について



神の本性相的男性に似た陽性の実体 と 神の本形状的な女性に似た陰性の実体 として分立

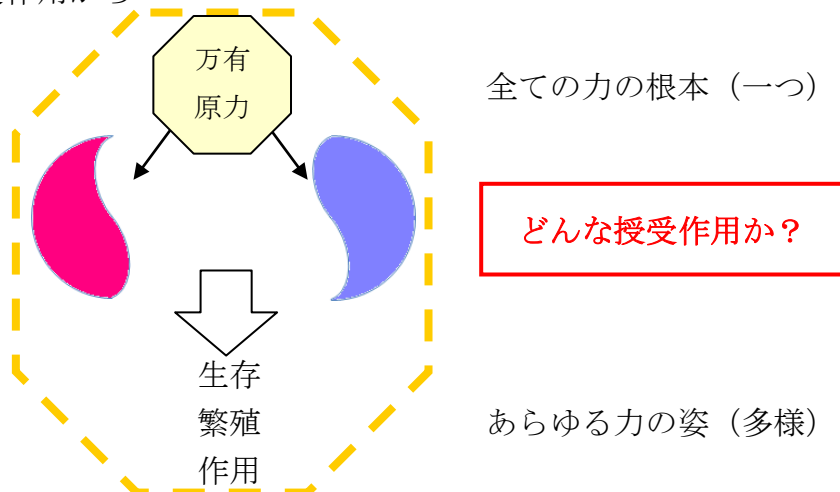
○このように分立された個性真理体はすべて神の実体対象でもある

⇒ それぞれ本性相と本形状に似て それ自体内に性相と形状の二性性相を備えるようになり、それにともなって、陽性と陰性の二性性相を一緒に備えるようになる

II 万有原力とは？

≡ 神の愛（三対象の愛として現れ、四位基台造成のための根本的な力）

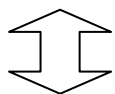
III 授受作用から



IV 良心について

古今東西を問わず、いくら悪い人間であっても、正しいことのために生きようとするその良心の力だけは、はっきりとその内部で作用している。

あらゆる力が、授受作用によってのみ生じる



良心も独自のその作用の力を起こすことはできない

∴良心もある主体と相対基準を造成し、授受作用するからこそその力を発揮

⇒ 良心の主体：神